

No.9 3 村雲



村雲（叢雲）　むらくも　MURAKUMO

分類 : 「肥後古花」のやや先端部の垂れる、平咲きの六英花です。

花被片 : 外花被は橢円形で先端が丸い大きな弁が特徴で先端が垂れます。内花被は、橢円形で縦に長い弁が特徴で先端が垂れます。また外花被、内花被ともに根元から伸びる白色の筋が明確に認められます（このように、花被片の基部（底）は深く、この部分から白色となっているので、「底白で深咲き」と呼んでいます）。花柱枝（雌蕊）を中心にして整然と花被片が大らかに伸長している「正花（せいか）」です。花被全体が薄い青紫色で、アイは底の部分から花被片に向かって大きく伸長して黄色となります。

花柱枝 : 花柱枝は白色で中央部が微かに黄色を呈します。ずい弁は2裂で上向きに立ち（いわゆる玉洞芯）、先端に細かく切れ込みがはいる「くも手」となります。また、花柱枝の周縁部は花被と同様に青紫色となります。